

第 7 編

経 済 観 光



城山公園『里見茶屋』

——内 容——

- 1 商 工
- 2 観 光
- 3 みなとまちづくり
- 4 農 業
- 5 漁 業

1 商 工

本市は、安房地域の経済、文化の中心地であり、特に商業は市の経済や豊かな市民生活を支える重要な役割を果たしている。しかし近年、消費者ニーズの多様化、大型店の進出、モータリゼーションの進展などにより、本市商業を取り巻く環境には厳しいものがある。

一方、東関東自動車道館山線等の全線開通により、通年型の観光客が見込まれ購買力の向上に期待を寄せている。

本市の工業については、2社の半導体製造業が操業するほかは、家内工業的な小規模事業所が点在している状況であり、現在、雇用の場の確保を図るため工業団地の整備を推進している。

(1) 商店数、従業者数、年間販売額 平成 19. 6. 1 商業統計調査 (単位万円)

分類	商店数	従業者数	年間販売額
総 数	858店	5,119人	8,960,345
一 般 卸 売 業	156店	969人	3,281,384
小 売 業	702店	4,150人	5,678,961

(2) 工業の分類別事業所数、従業者数 平成 19. 12. 31 工業統計調査

産業(中)分類	事業所数	従業者数	産業(中)分類	事業所数	従業者数
食料品	16	267	鉄鋼	5	51
飲料・たばこ			非鉄		
繊維	6	83	金属製品	8	152
衣服			一般機械		
木材・木製品	1	5	電気機械	1	10
家具・装備品	2	12	情報通信機械	5	1,214
パルプ・紙	1	39	電子デバイス		
印刷	8	94	輸送用機械	4	107
化学	1	7	精密機械	1	40
石油・石炭	3	78	その他	5	65
プラスチック					
ゴム	3	78	合計	67	2,224
なめし革					
窯業・土石	3	78			

※従業者3人以下は除く。

(3) 中小企業資金融資対策

資金貸付制度（信用保証料は貸付日より3年間分のみ市費負担） 平成22年4月1日現在

種類	区分	貸付限度額	貸付期間	利子補給		利率	
				1%	3年以内	1年以内	2.75%
一般事業資金	運転資金	1,000万円	5年以内	1%	3年以内	1年以内	2.75%
	設備資金	2,000万円	10年以内	1%	3年以内	1年～3年	2.90%
小口零細企業 保証制度資金	運転資金	1,000万円	5年以内	1%	3年以内	3年～5年	3.20%
	設備資金	1,250万円	10年以内	1%	3年以内	5年～10年	3.70%

取扱状況

平成21年度

貸 付 決 定					
運 転 資 金		設 備 資 金		合 計	
件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
12件	72,500千円	7件	41,030千円	19件	113,530千円

(4) 商工団体等への助成等

(平成22年度当初予算ベース)

館山商工会議所補助金	7,071千円
館山市商店会連合会補助金	1,398千円
館山たばこ販売組合補助金	279千円
中小企業融資預託金	40,000千円
中小企業融資保証料補給金	3,500千円
中小企業融資利子補給金	5,210千円
小規模事業者経営改善資金利子補給金	3,300千円
房州うちわ振興協議会補助金	291千円

(5) 消費生活相談

126件

(平成21年度相談件数)

消費生活苦情相談員が毎月2回、相談員不在の日は担当職員が商品やサービスについての苦情、相談に面談や電話で応じている。

近年は、架空請求や点検商法等の悪質商法の被害を受けた市民の相談が多く、高齢者の高額な被害も目立つ。また、パソコンや携帯電話での有料サイトへの接続による被害等は若者に多い状況である。平成19年度からは、多重債務に関する相談が急増している傾向にある。また、個人情報保護に関する相談も見受けられる。

悪質商法の手口、種類等が次々変化し、巧妙になっているので、最新の情報を把握し、相談に対応している。

(6) 館山工業団地事業

千葉県企業庁は、若年労働力の流出により過疎化傾向にある千葉県南部地域の雇用機会の拡大と、均衡ある県土の発展を目的として、館山市稲・宝貝地区で館山工業団地事業を推進している。

館山市は、千葉県企業庁と連携し、安房南部区域農用地総合整備事業に伴う農業用道路(基幹農道)の関連道路でもある工業団地への進入道路や排水路の整備を行っている。

工業団地並びに関連事業の概要は次のとおりである。

① 館山工業団地

所在地	館山市稲・宝貝地内
団地面積	全体面積 約68.7ha 工業用地面積 想定約28.7ha
区域区分	都市計画区域内・用途地域は無指定
分譲価格	未定
交通	【道路】 館山自動車道富浦ICから約10km 国道128号から約2km 【鉄道】 JR内房線「九重駅」から約2km
地域指定	工場立地法に基づく「工場適地」 半島振興法に基づく「半島振興対策実施地域」
給水	三芳水道企業団より給水予定
排水	工場排水・生活排水は企業で排水基準値まで個別処理後、雨水枡へ
電力	普通高圧6kv
優遇措置	補助(県)、融資(県)、税制(国)(県)(市)
導入業種	製造業、物流業等
現状	用地は取得済み。 進出企業が決定してから、進出企業の要望に合わせて造成を行うオーダーメイド方式で分譲中。造成は未着手。

② 館山工業団地地区外排水路整備事業

総延長	L = 1,878m
整備済み	L = 1,416m
未整備	L = 462m (平成21年度末現在)

2 観 光

本市は、南房総国定公園内に位置し、恵まれた自然と温暖な気候により古くから保養地、海浜リゾート地として、また近年では花の産地としてその名を知られ、首都圏各地からの観光客に親しまれている。

近年、東関東自動車道館山線や安房グリーンラインが整備され、さらに館山港多目的観光桟橋の完成など、アクセスルートが拡大し、アクセス性が向上することで、本市は首都圏における観光レクリエーション都市としての飛躍が期待できる。そのため、恵まれた立地や風土を十分活用した新たな観光資源開発、体験観光の推進、学習旅行を含む積極的な観光客の誘致活動を推し進め、現在の春夏の二季型から通年型への移行を図っている。

また、平成19年には、日本風景街道「南房総・花海街道」に、平成20年には観光庁発足にあわせ「南房総地域観光圏」に認定されるなど、広域連携による滞在型の観光地づくりを推進している。

(1) 観光客入込数

単位：人

観光客入込数		平成19年	平成20年	平成21年
		1,758,000	1,763,000	1,780,000
内	利用交通機関別			
	鉄道	340,000	330,000	295,000
	貸切バス	208,000	210,000	212,000
	自家用車	1,185,000	1,198,000	1,248,000
	その他	25,000	25,000	25,000
	宿泊別			
日帰り客	1,286,000	1,324,000	1,336,000	
宿泊客	472,000	439,000	444,000	
訳	目的別			
	海水浴	95,000	98,000	95,000
	海釣り	8,000	7,000	8,000
	社寺参詣	281,000	301,000	295,000
	花見	51,000	61,000	96,000
	ゴルフ	126,000	128,000	132,000
	遊園地	360,000	345,000	335,000
	文化財等見学	136,000	119,000	87,000
	いちご狩り	135,000	146,000	133,000
	テニス	調査項目なし	調査項目なし	調査項目なし
	サーフィン	117,000	107,000	101,000
	各種催物	307,000	314,000	369,000
	その他	142,000	137,000	129,000

(2) 市内の宿泊施設

H22. 3. 31 現在

民間施設	数	収容人員	公的施設	数	収容人員
ホテル	3	197人	休暇村館山	1	242人
旅館	105	5,054人			
簡易宿所(年間)	37	701人			
簡易宿所(季節)	13	278人			
下宿	0	0人			
計	158	6,230人	計	1	242人

(資料 安房健康福祉センター)

(3) 主な観光行事

- ① 花摘み園(1月～5月上旬)……特産のアイスランドポピーの摘み取り
- ② 観光いちご園(1月上旬～5月上旬)
- ③ 観光定置網(3月～11月)……本場の定置網漁業体験
- ④ 地曳き網(5月～10月)……鏡ヶ浦名物の地曳き網
- ⑤ 館山観光まつり(7月18日～8月10日)
……館山湾花火大会、館山国際オープンウォータースイムレース
全国大学フラメンコフェスティバル他
- ⑥ ハワイアンフェスティバル(7月中旬)
- ⑦ 安房国司祭(9月敬老の日を含む前の土日)……安房地方最大規模の例大祭
- ⑧ 南総里見まつり(10月第3日曜日)……里見水軍武者行列等
- ⑨ ウミホテル観察(毎月第1土曜日)……館山港多目的観光栈橋

(4) 観光宣伝

- ① 観光パンフレットを作成し、広く内外に頒布紹介している。
- ② 市ホームページによる観光宣伝
- ③ 県外で開催する千葉県観光・物産展に参加し、本市の優れた各種物産と観光を県外に紹介している。
- ④ 南房総観光連盟(安房郡市)、南房総地域観光圏整備推進協議会(千葉県、安房郡市)による広域的な観光宣伝事業の実施。
- ⑤ ちば観光プロモーション協議会(千葉県・市町村・観光事業者等)による県外への観光宣伝事業の実施。
- ⑥ 千葉県観光キャラバン隊(千葉県・市町村・観光事業者等)による修学旅行等誘致のための観光宣伝活動の実施。
- ⑦ 中野区と館山市ほか5市による連携による交流事業の実施。「なかの里・まち連携宣言」(H21. 3. 28)

(5) 体験観光

観光事業者やNPO等が、ウミホテル観察や戦跡めぐりなど50種類以上の体験メニューをそろえて観光客や修学旅行者に提供している。

平成21年度修学旅行等実績 50校 6,007人

(6) 館山温泉郷

平成17年5月に館山温泉組合が設立され、同年10月に館山温泉郷開湯宣言を行った。市の観光振興支援事業補助金などを利用し、全国に温泉をPR、施設整備等を実施している。組合加入施設数 15施設 (平成22年6月現在)

(7) 館山市の民芸品、土産物

房州うちわ、唐棧織、貝細工、里見焼き、玉黄金らっきょう、はちみつびわ最中、花菜っ娘、牛乳せんべい、魚貝類など

(8) 観光団体への補助

館山市観光協会に対し補助金を交付……平成21年度 8,149千円

(9) 観光振興支援事業補助金

魅力的な観光地づくりを目指し、民間団体などが行う観光振興に資する事業の実施を支援するため、補助金を交付する。

平成21年度 5団体 5,750千円

3 みなとまちづくり

(1) 多目的観光棧橋と館山港交流拠点“渚の駅”

平成12年5月、館山港が、国から『特定地域振興重要港湾』に選定された。

これを受け、平成14年に、国・千葉県・館山市の三者共同により、『館山港港湾振興ビジョン』を策定した。

これは、海から観光・レクリエーション分野の振興を図り、地域全体の活性化・発展を図ろうとするものである。

この実現には、現在、千葉県が事業主体となって進めている「多目的観光棧橋」と棧橋基部にターミナル機能等を併せもつ「館山港交流拠点“渚の駅”」の整備が必要不可欠である。

「多目的観光棧橋」は、平成18年度末に漁業関係者の同意を得、平成19年度には陸上部の工事が完了、棧橋部の工事が平成20年度からデザインビルド方式で実施され、平成22年4月25日に竣工した。【次頁“多目的観光棧橋の概要”参照】

また、平成23年度の全体竣工を予定している「館山港交流拠点“渚の駅”」は、平成19年度に“渚の駅づくり検討委員会”、“渚の駅づくり市民ワーキング会議”において、市民の声を聴きながら検討を行い、「館山港交流拠点整備基本計画」を取りまとめた。更に、平成20年度には、県立安房博物館の本市への移譲協議が整い、平成21年4月1日から移譲となり、整備に係る実施設計を実施、平成21年度より、3ヵ年計画で整備工事を実施している。

これらが早期に整備されることで、本市の恵まれた資源である“海”を活かしながら、多くの来訪者で出会いと交流の場が形成されることにより、交流人口が拡大し、館山港を起点とした南房総地域への観光活動により、新たな経済活動が生み出されるものと考えている。

さらに、これらの交流拠点から面的な広がりを図るため『館山湾振興ビジョン』（平成21年3月）を策定し、館山市全域、さらには、南房総地域全体の活性化を模索している。

(2) 大型客船の寄港と地域活性化

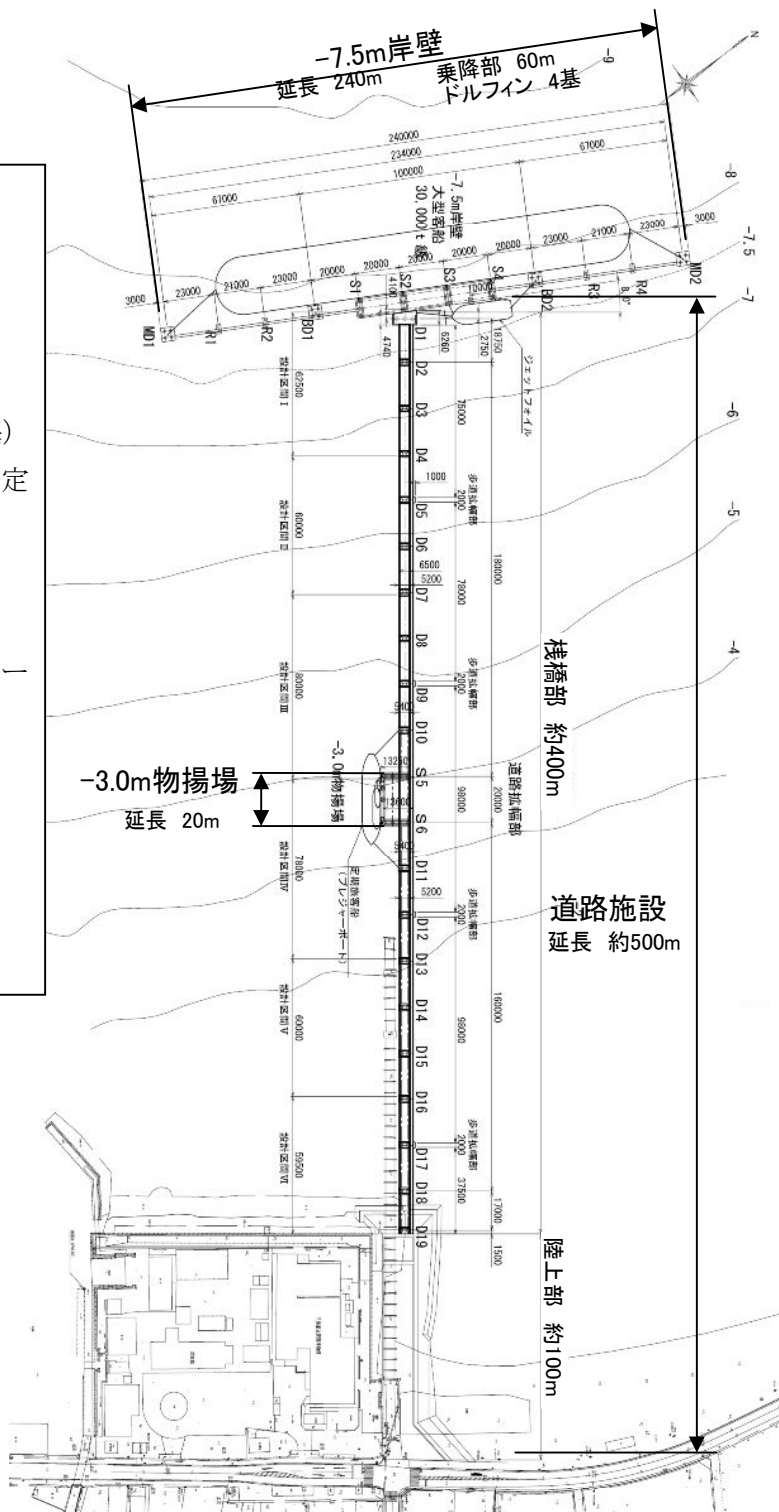
『館山港港湾振興ビジョン』に示された地域振興策の一つに、大型客船の寄港があり、本市では、船社への積極的な誘致活動を展開してきた。

その結果、平成15年3月の客船「飛鳥」の初寄港を皮切りに、日本を代表する各豪華客船が平成20年度までに14回も館山港に寄港、特に毎年行われる8月8日の「館山花火大会」には、“夏休み 館山花火クルーズ”として、客船「にっぽん丸」が定番として寄港し、地域に明るい話題と大きなインパクトを与え、様々な歓迎行事や下船オプションツアーを通じて、市民との交流が盛んに行われている。

このような大型客船の寄港は、直接的な経済効果のみならず、多大な広告効果があり、本市の知名度向上など「観光立市館山」の実現に大きく寄与し、地域活性化の契機になるものと考えている。

多目的観光栈橋の概要

- 【整備概要】**
- 1) 整備主体 千葉県
 - 2) 整備内容
 - ①水深 7.5 m 岸壁
 延長 240 m
 (乗降部 60 m、ドルフィン 4 基)
 対象船舶：大型客船、官公庁船、定期旅客船
 - ②水深 3.0 m 物揚場
 延長 20 m (道路部と一部共用)
 対象船舶：湾内遊覧船、プレジャーボート
 - ③道路施設
 延長 500 m
 車道幅員 4.0 m
 歩道幅員 1.5 m
 - 3) 整備費 : 約 15 億円



(3) 海路開設に向けた取組み

平成16年7月の東京～館山～下田を結ぶ超高速ジェット船（東海汽船株）によるモニター運航（国土交通省・館山市）に始まり、平成17年3月の東京～館山～大島間の試験運航を経て、平成18年～平成22年の早春には、館山～大島～下田間及び東京～館山～大島間の季節運航が実現、運航日数等の拡大とともに利用者も増加した。

また、平成20年5月には、海路の充実による観光圏のさらなる拡大の可能性を探るため、初の試みとして、超高速ジェット船（東海汽船株）による『市長と行く神津島への館山市民号』を200人限定で企画。成功裡に終了したことで、離島や伊豆半島へのゲートウエーとして館山港が相当のポテンシャルを持っていることが把握できた。平成21年度は、館山市民号を、新島、式根島の2航路を計画したが、悪天候等により実施できなかった。平成22年度は、神津島、新島、式根島、大島の4島を選ぶコースを設定し、5月と7月に実施を予定している。

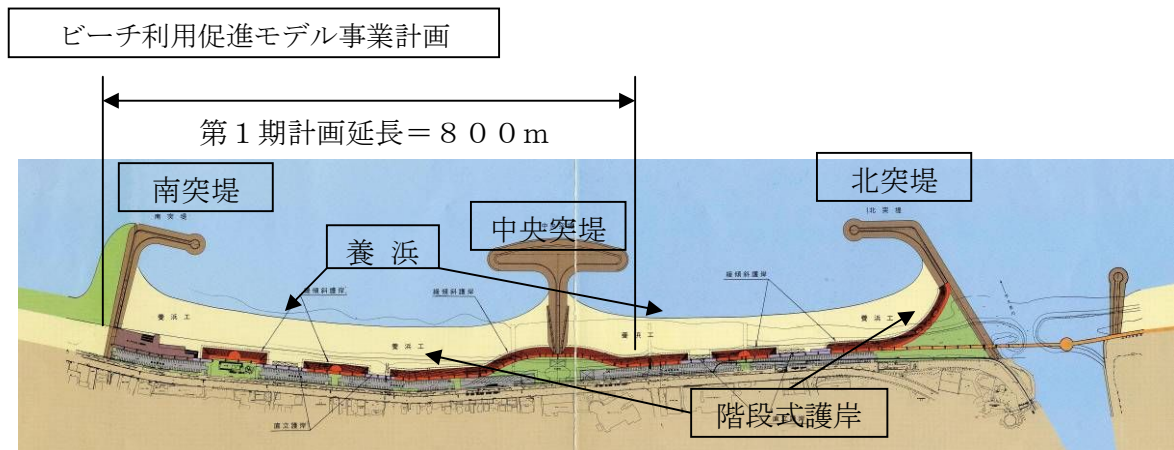
新たな海路の開設は、観光客や地域住民のアクセス性の向上、商圈の拡大につながることから、その需要や課題等を様々な角度から分析しながら、旅客船を利用した新たな旅行商品などの開発を目指し、館山港を拠点とした交流人口の拡大に取り組み、地域の活性化を図っていく。

(4) 賑わい空間の創出

現在、館山港海岸では、深刻化する高潮・侵食等の災害から、市民の生命と財産を守り、良好なレクリエーション環境を創出するため、千葉県による「ビーチ利用促進モデル事業」が進められている。

また、この第1期事業区間の延長800mの整備にあわせ、海浜部を南北に縦走する都市計画道路船形館山港線の延長1,270mの間を、南欧風の景観整備と電線地中化などにより、「海辺のまちづくり」のシンボルロードとして整備を進めている。

本市の恵まれた資源である“海”を生かしながら、新たな海辺の賑わい空間及び景観に配慮した街並みの創出を図り、多くの来訪者で賑わう出会いと交流の場を形成し、交流人口の拡大につなげていく。



シンボルロードイメージ図



ソフト面においては、将来を担う子供たちをはじめ、多くの人に海や船に親しむ機会を提供し、館山湾を活用した『海辺のまちづくり』の推進を図るため、平成14年度から、アクセスディンギーヨット（小型ヨット）や海で活動する官公庁船などの乗船体験のほか、沖ノ島など海を舞台に自然や環境の学習・啓発活動などを行っている各種NPO団体などによる海の学習を内容とする『たてやま海まちフェスタ』をこれまで9回開催しており、延1千人からスタートしたこの事業は、参加者や実施アトラクションが年々増加傾向にある。

また、ビーチそのものが地域の活性化や環境教育、あるいは生涯教育のベースとして利用される総合的な空間として位置づけられることを期待し、市内外からの利用（来訪）者を迎え入れ、ビーチスポーツによる“賑わい空間の創出”を図るため、平成18年度に“試験的取組み”として、北条海岸南突堤脇の砂浜に、期間限定で利用料無料の『ビーチバレーボールコート』2面を職員の手作りにより開設、その後、年々『ビーチバレーコート』の増設を行った。本年は、7月中旬から10月末までの期間で、北条海岸南突堤北側に『ビーチバレーコート』4面設置を計画している。

平成21年度より『ビーチバレーコート』を活用して、bayfmが主催するスポーツビーチ・イベントなどが開催されるようになり、今年度もビーチバレーやビーチサッカーなどの大会開催が予定されている。

今後も、これらソフト事業の内容をさらに充実させながら、事業展開していくことにより、海辺の通年的な利用を目指し、これを地域活性化につなげていく。

4 農 業

本市は、西に東京湾口、南は黒潮の北流する太平洋に面し、海洋性の影響を受けて、冬暖夏涼の西南暖地型を示すが、冬季は西の季節風が強く、営農作目に制約を受ける。平成20年の平均気温は、16.0度で年間降水量1,858mm、昭和46年から平成12年までの平均初霜11月29日、終霜3月29日であり一部無霜地帯もある。

農家の経営規模は、1戸平均86アールで零細農家が多く兼業化が著しく進んでいる。このような中で経営形態は米プラス野菜、花きまたは酪農といった複合型で自立への道歩んでいる。

(1) 農家数及び人口

農家戸数	専業	兼業		農家人口			うち農業従事者数(販売農家)		
		一種	二種	総数	男	女	総数	男	女
1,849	409	126	1,314	6,525	3,146	3,379	3,037	1,588	1,449

資料：2005 農林業センサス（確定値）

(2) 経営耕地面積（販売農家）（単位 ha）

総数	田	畑	樹園地
999	754	224	21

資料：2005 農林業センサス（確定値）

(3) 経営規模別農家数

総数	自給的農家	～29a	30～49a	50～99a	100～149a	150～199a	200a 以上
1,849	681	79	292	464	204	76	53

資料：2005 農林業センサス（確定値）

(4) 担い手の育成・確保

大規模経営を目指す農業者だけではなく、兼業農家や小規模経営を含む意欲あるすべての農業者が農業を継続できる環境を整備するとともに、農業経営の多角化・複合化等の第6次産業化による附加価値を経営に取り入れるなど、効率的かつ安定的な農業経営体を地域農業の担い手として育成する。

① 認定農業者制度

認定農業者制度は、経営改善を図ろうとする農業者が作成した「農業経営化改善計画」を市が認定。制度資金融資やリース事業など支援策を受けることができる。

認定農業者数：117 経営体（平成22年4月1日現在）

② 新規就農者支援

将来の担い手となり得る新たな人材の育成・確保を図る。研修・支援制度などの情報提供を行う。

③ 集落営農の推進

地域農業の生産性向上、後継者が不足している地域における農業生産活動の維持を図るため、小規模な農家や兼業農家も参加した集落営農の育成確保を推進。

地域における新たな組織づくりに必要な合意形成を促進、集落営農の法人化や6次産業化、地域農業・農地の維持等の取り組みを推進。

(5) 園芸

本市での園芸は、野菜、花きの栽培を中心に営まれている。

栽培される農作物は、多様化する消費者にニーズや産地間競争などの厳しい社会状況に対応するために、エコファーマー、ちばエコ農作物の認定を取得するなど、農作物の高品質化やブランド化が図られている。

① 野菜・花き・果樹

農作物の付加価値をあげるために、神戸地区のレタス、館野・豊房地区のイチゴ、

西岬のひまわり、種なしビワなど、地域性を活かした農作物や他地域に類の見ない農作物の栽培、野菜産地指定・エコ農作物の取得による地域ブランド化や、農作物を高品質で生産・出荷が可能となる農業施設の整備が図られている。

・エコファーマー

認定者：57名

農作物：8種目（レタス、ブロッコリー、ソラマメ、食用トウモロコシ、トマト、いちご、水稲、セルリー）

・ちばエコ農作物

農作物：10種目（食用なばな、ソラマメ、レタス、水稲、キャベツ、トマト、びわ、レモン、いちご、自然薯）

（6）畜産

歴史・伝統のある安房地域の畜産は、資料の高騰化、低価格の乳製品、生肉の輸入や家畜糞尿の適正な処理への対応が求められる中、43戸の畜産農家により営われ、飼育頭数は1万等を越し、その種類は、乳牛・肉牛・豚と幅広い。

（7）農業生産

（単位 千万円）

項目	産出額	備考
米	84	
穀類、豆類	4	大豆・小豆・落花生
いも類	7	
野菜	149	
果実	16	
花き	153	

資料：千葉県生産農業所得統計（平成18年）

5 漁業

房総半島の西南端にあり三方を海に囲まれ、海岸線は31.5キロに及び、布良の鬼ヶ瀬、さらに沖合いに伊豆七島、西に東京湾口の深海を控え沿岸一帯は岩礁が多く、このような自然的要因が漁業に適しているばかりでなく、暖流の影響を受けて回遊魚族が近海に多い。

本市の漁家は、118戸で漁業従事者は208人であるが高齢化が進み、年間の漁獲高は、約10億円である。漁業種類としては、まき網漁業、近海カツオ一本釣り、刺し網、定置網漁業等漁船漁業のほか、時期により採貝、採藻等の沿岸ないし近海漁業が盛んである。

魚種の主なものは、アジ、イワシ、サバ、ソウダカツオ、ブリ、スズキ、イカ、海藻類等である。その大部分が沿岸漁業であるため小型の漁船が多く、漁業根拠地も沿岸地先を利用しているので各地に散在する船溜りを拡充し、その結果、地方港湾1、第3種漁港1、第2種漁港1、第1種漁港8を算し漁業協同組合も結成され、現在5団体となっている。

近年の漁獲量は、全般的には乱獲等の弊害から減少傾向にあり、規模が零細なため生産性も低下している。このため、獲る漁業からつくり育てる漁業いわゆる栽培漁業の振興が

図られている。また、経営の合理化や近代化が要請されており、港整備交付金事業による基幹漁港の整備や魚礁設置事業による良好な漁場の造成により、沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給拡大を図っている。

(1) 専兼別経営体数及び漁業就業者数

経営体数				漁業就業者数
総数	専業	兼業		総数
		漁業主	兼業主	
118戸	59戸	30戸	29戸	208人

資料：第11次漁業センサス（H20.11.1）

(2) 規模別漁船隻数

規模別	隻数	総トン数
総数	373	935.6t
無動力船	2	88.5t
動力船	総数	371
	3t未満	283
	3～5t	58
	5～10t	8
	10～20t	22
		847.16t

資料：港勢調査（H20.12.31）

(3) 主な漁業別漁獲量（t）

大型定置網	951.8
小型定置網	2258.8
まき網	2029.0
刺し網	83.4
採藻	25.2
採貝	13.1
釣り・その他	89.5

資料：港勢調査（H20.12.31）

(4) 漁種別漁獲量（t）

さば類	1461.6
いわし類	1847.4
かつお類	177.7
まぐろ類	28.0
あじ類	730.5
ぶり類	332.0
その他魚類	762.2
貝類(あわび・さざえ・とこぶし外)	18.7
水産動物類(いか・たこ・えび・かに外)	65.3
草類(わかめ・てんぐさ・ひじき外)	33.4

資料：港勢調査（H20.12.31）